



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



ロータリーに
輝きを

2014-2015 RY 会長メッセージ

第1165回例会 2015年6月3日 No.1134号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

みなさん今日は、お変わりありませんか。6月2日昨日から、九州南部が梅雨入りしたということです。今月3日には広島も梅雨にりました。これから気候がじめじめしてまいりますので、健康には充分注意して下さい。それにしても、今年は、地震や噴火が多いようです。さきの(約1ヶ月前に発生した)ネパールの大地震は記憶に新しいところですが、さる5月29日午前9時59分ころ、

鹿児島県の口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生し、島内の住民・滞在者137名全員が隣の屋久島に避難したとのことです。犠牲者がゼロということで教訓が生きた、と報じられていました。また、翌日5月30日午後8時24分ころ、小笠原島諸島沖西方沖で、震度5強マグニチュード8.1ということで、怪我をされた方が13名発生したものの、亡くなった方はゼロ、ということで、ひとまず安心しました。しかし、この地震は広範囲に及んでいて、東京、首都圏の高層ビルでエレベーターが2万基近く停止したとのことです。日本が地震列島であるということ、私どもは地震列島の上で暮らしをしているということを改めて肝に銘じたいと思います。それと報告ですが、私の妻、朋子さんが、先週の土曜日から一週間ネパールの大地震の現状と復旧支援に、何かできないか、ということで、寄付金を持ってゆきました。広島大学と鹿児島大学の医師、ネパールの医師を志している留学生、総勢8名あまりで出発しました。日本とは環境が違いますので、復旧支援、医療支援といっても想像できませんが、少しでも役に立つことを願っています。さて、本日の卓話は、広島南ロータリークラブ会員で、広島大学名誉教授(病理学)、NPO法人総合遠隔医療支援機構理事長、株式会社病理診断センター代表取締役、井内康輝様をお願いしております。私がお願いしたきっかけは、昨年(平成26年)10月18日、19日福山市の福山ニューキャッスルホテルで開催されました第2710地区の地区大会の会場で、「友愛の広場」というコーナーに、井内先生のカンボジアで診察に当たっておられる写真を見たことからです。この「カンボジアへの医療支援」のお話を伺えれば、当クラブの今後の国際奉仕事業の「学び」となるのではないかと思ったからです。ご静聴をよろしく願います。

今回の例会(6月10日)

来賓卓話

広島商船高等専門学校
地域連携コーディネーター特命教授
長谷川 尚道 様

次回の例会(6月17日)

会長・幹事・理事役員
退任挨拶

出席報告 (例会運営委員会)

6月3日(水)出席者

会員総数	53名
出席会員	43名
欠席会員	10名
ご来賓	1名
ご来客	5名
ゲスト	0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

6月3日(水)出席者

広島RC	1名
広島南RC	1名
広島北RC	1名
広島西南RC	1名
広島安佐RC	1名

幹事報告(賀谷幹事)

■ 例会変更、休会

- ・ 広島廿日市RC「職場訪問例会」
【とき】 6月8日(月) 12:30～13:30 [※同日変更]
【ところ】 三共ディスプレイ(廿日市市木材港北7-17)
- ・ 広島安佐RC「職業人による講話会」
【とき】 6月18日(木) 12:10～ [※同日変更]
【ところ】 熊野中学校
- ・ 広島廿日市RC「最終夜間例会」
【とき】 6月22日(月) 18:30～ [※同日変更]
【ところ】 PAN(広島市西区楠木町1-15-7)
- ・ 広島西南RC「最終夜間例会」
【とき】 6月23日(火) 18:30～ [※同日変更]
【ところ】 ANAクラウンプラザホテル広島
- ・ 広島中央RC「休会」 6月22日(月)

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

ゲスト卓話

カンボジアへの医療支援

～ロータリー財団グローバル補助金(人道支援、VTTプログラム)を使って～

(株)病理診断センター 代表取締役社長

(広島南ロータリークラブ)

井内 康輝 様

ロータリー財団の補助金の改革によって、これまでマッチング・グラントとして慣れ親しんできたグローバル補助金は、人道的補助金、奨学金、職業研修チーム(Vocational Training Team, VTT)に整理されましたが、この中でもとくにVTTはなじみが薄いと思われます。

広島南ロータリークラブでは、2003年からカンボジアへの支援を行い、当初はマッチング・グラントとして、7年間にわたって15本の井戸を寄贈しました。その後、支援の対象を変更し、小学校での歯科検診の支援、肝炎ウイルスの測定



の支援、身体検査用紙の支援などを行ってきましたが、2012年から未来の夢計画に沿う新しいグローバル補助金のプロジェクトへの取組みを始めました。まず、カンボジア保健省の医療・疾病予防の責任者と協議して、女性の乳がんの早期発見・治療をめざす“乳がん検診プロジェクト”を計画しました。カンボジア側のパートナーとしてプノンペンRCとの協力関係をむすび、2014年3月に、広島の乳がん専門医、乳がん検診専門の技師を伴って、カンボジア南部の地方都市、カンポット(Kampot)で3日間の検診活動を行い、190名の検診を行って5名の乳がんあるいは乳がんの疑いのある人を見つけ、プノンペン市内の治療可能な病院へ紹介しました。次いで、2014年12月にプノンペン北方の都市、コンポンチャムにて同様の検診を行い、250名の受診者の中で6名の同様の人を見つけました。こうした経験をふまえて、乳がん検診の必要性がカンボジア保健省当局者にも浸透し、VTTプログラムへと発展しました。2015年4月に5名の医師を広島に招き、10日間の乳がん検診に関する研修を行いました。その目的は、今後はこれらの医師がカンボジア国内で自立して検診活動を行うことにあります。

グローバル補助金の計画にあたっては、1. 現地にその支援に対するニーズがあるか、2. その活動は継続的に行えるか、3. 現地の人々にその支援の技術の移転がはかれるか、をまず念頭に入れ、現地のロータリークラブをパートナーとしてみつけることも肝要と思われます。また、ロータリー財団の本部との直接交渉が必要ですので、さまざまな要望や指摘を受けて計画を変更しなければならないこともあり、ねばり強く交渉することも忘れてはなりません。



.....: SMILE BOX

川中敬三 会員

先月、5月18日にはじめての内孫が生まれました。これで5人の孫に恵まれ嬉しい限りです。

堀江正憲 会員

本日の卓話、(株)病理診断センター代表取締役社長 井内康輝様、ありがとうございます。井内康輝様は、前広島大学医学部病理学教授で、前広島大学医学部長で、著名な先生です。本日宜しく願います。

石川貴与和 会員

先日、当店ファミリーマートに強盗が入りましたが、日頃の良

山本新太郎 会員

日曜のつり同好会に息子を連れていき、同好会の皆様には大変お世話になりました。良い思い出ができたと思います。大漁でした。ありがとうございました。

川中敬三 会員

先般行われた広島県シニアゴルフ大会地区予選をクリアしました。7月2日の決勝大会をクリアし、9月に大山アークヒルゴルフクラブの中国大会出場をめざして頑張ります。

当日計	43,000円	累計	1,195,000円
-----	---------	----	------------